

議会改革に関する検討調査部会（第7回） 記録

日 時	平成22年2月25日（木） 午後2時01分～午後3時14分	
場 所	杉並区役所中棟4階 第2委員会室	
出席委員 (13名)	部 会 長 河野 庄次郎 委 員 けしば 誠一 委 員 岩田 いくま 委 員 藤本 なおや 委 員 安斉 あきら 委 員 小倉 順子 委 員 斉藤 常男	副部長 横山 えみ 委 員 奥山 たえこ 委 員 中村 康弘 委 員 原田 あきら 委 員 松浦 芳子 委 員 河津 利恵子
欠席委員	(なし)	
委員外出席	(なし)	
事務局職員	事 務 局 長 伊藤 重夫 調 査 担 当 係 長 小林 一夫 議 事 係 長 中島 廣見	事 務 局 次 長 佐野 宗昭 調 査 担 当 係 長 鈴木 真理子 議 事 係 主 査 小坂 英樹
議 題	1 議会基本条例について 2 前回記録について	
発言要旨	別紙のとおり	

議会改革に関する検討調査部会（第7回） 発言要旨

発言者	発言内容
部 会 長	開会する。 （午後2時01分） 《議会基本条例について》
部 会 長	<p>本日の資料について説明する。</p> <p>資料は「議会基本条例の必要性の有無について」と「2月5日「議会基本条例の必要性について」意見等の整理」の二点。</p> <p>条例の必要性の有無については、有が4名、有（条件付）の黒丸が4名、必要性がないという方は×で、要するにおられなかった。まだ結論が出ていない委員の方が3名。</p> <p>制定時期に関する意見として、要約をお付けした。</p> <p>意見の整理として、必要性ありの中でも、内容と制定時期について様々な意見があった。内容については、条例に規定しなくてもできるものをまず検討する、あるいはつくるならばいいもの、日本一のものという意見、合意がなされた最低限のシンプルなものという意見。</p> <p>制定の時期については、今期中にやるべきだというご意見と、来期中でもいいのではないが、あるいはまた今期、来期にこだわらないという、それぞれの意見があった。</p> <p>この部会のロードマップの最終時期は5月末。最終的には5月の部会で、基本条例に関するさまざまな意見を両論併記という形で報告書を提出する状況になる。</p> <p>前回の会議でまだまだ基本条例についての各委員の認識もまちまちであり、会派の意見もまとまっていないという印象を受けた。</p> <p>これまでの意見交換と視察を踏まえた上で、改めて本日それぞれ会派の意見を伺っていききたい。</p> <p>正副部長で相談し、今までの経過を踏まえて、アンケート形式で回答をいただく方法を提案したい。3種類を用意した。</p> <p>昨年の部会で調査研究を行った基本条例の規定事項を分野別に整理し、それぞれの項目ごとに会派のご意見を記入する点では3種類とも同じだが、案1は全部記入方式、第2は選択方式、単にA、B、C、Dに丸をつけていただく方法、第3案は、記号式と意見記入欄を組み合わせた方法。</p> <p>このほか追加資料として、資料1は89自治体の基本条例の内容を集計したものであり、資料2は、平成17年の段階で議会改革検討調査部会が立ち上がる2カ月前に、当時の44名の全議員に対して行なったアンケートの回答、359件を整理して、掲載をした。</p> <p>これらを参考に、今後の検討部会の進め方について、このアンケートをとることによって、それぞれの会派の意見、議員の意見を集約して、そして次の段階に進みたいと考えている。</p> <p>本日は、アンケートのとり方について、まず皆さんの意見を聞いた上で、方式を最終的に決めたい。いかがか。</p>
A 委 員	これは会派ごとに意見をまとめる形式だが、1人会派の場合はどうするのか。
部 会 長	1人会派も会派として認められているので、それぞれ提出していただければ。
A 委 員	3案がいい。面倒な人はA、B、Cの記号だけで、いろいろ理由を書きたい方は書けば

B 委員	<p>よく、3案が充実していてよい。</p> <p>私も基本的に3案がいいと思う。</p>
部会長	<p>会派でもう一度話をした際、部会以外の方々との間に温度差があって、理解度が少し違う。できれば部会以外の方でもこれから視察に行く機会はないのかと。最終的に議会全員にかかわる話なので、議論を深める機会をもう少しつくれたのかという意見も会派の中でいただいた。それらも踏まえると、アンケートをとるのは構わないが、本当に個々の議員が思っている中身がなかなか吸い上げられないのではないかと。</p>
C 委員	<p>会派の中で、委員になっている方が今までの経過を説明しながら、最終的には一任という形をとる場合もあったり、また、この結論は3月末までを前提としているので、その間に会派でそれぞれ視察をしていただくなり、あるいは勉強会をしていただくなりして、一応会派としての意見が集約できれば、それが一番ありがたい。万が一会派の中で意見が分かれることがあれば、それは両論併記で、会派の意見としてこういう意見もあるということを示していただきたい。</p>
D 委員	<p>私も3案がいいと思う。まとまったスペースもあり、一言コメントも入れられるという意味では3が一番やりやすい。</p> <p>これから視察に行くのもかなり難しいと思うが、全協方式で勉強会を1回できるといいと思う。会派に説明するに当たり、もう少し多くの議員に、まずはベースのところを理解していただく場を設けてほしいというのが我が会派の意見だった。</p>
E 委員	<p>これを成功させるには下からの盛り上がり、メンバーの理解と納得が1つのキーワードである。したがって、今B委員、C委員がおっしゃった状況は、私の会派を含めて相当あると見ている。そういう点ではもう少しアンケートを引き延ばしてもいいのではないかと考える。</p> <p>このアンケートのとり方もタイミングがあるのではないかと見ている。前提条件をクリアした上での生かし方なら理解できる。</p>
F 委員	<p>全議員への説明会は個人的にはあっていいと思う。イメージとしては中間報告的なことになるのかなと思うが、それ自体はいいことだと思う。ただ、タイミングが難しいところはある。</p> <p>実際に部会に傍聴に来られたほかの議員も余りおられないので、そういった状況も一応加味したほうが良い。</p>
G 委員	<p>議事録が出ているので、それで対応できている。アンケートに関しては、案2が良い。</p>
部会長	<p>私も個人的には案3が方法としては一番自由度もあると思うが、会派として統一した意見ということになってくると、どうしても1つ1つの単語がまず理解できない部分もかなりある。先ほどからご意見が出ているように、一度そうした場を設けてもいいのではないかと。</p>
H 委員	<p>基本条例に賛成か反対かではなく、このアンケートの項目を通じて、会派の中で議論していただければ、それぞれの部会員としての役割が果たせるという思いで出させていただいた。その前に全員協議会的な形でとなると、これはだれも反対することではないし、皆さんに参加していただければ、それは随分ありがたいことだとは思う。</p>
部会長	<p>私個人としては案3がいいと思っている。</p> <p>ただ、現状では、部会委員のように一定の理解に立って初めてそれぞれ回答できると思</p>

A 委員	<p>う。そうではない方がこの案3で同じように対応できるかといえば、難しい。今すぐにやるのならば案2がいい。</p> <p>しかし、これから具体的な問題に入っていく上で、私が全体の代表という形でやるためには、一度少数会派の中で視察に行く等、そうした理解の場をつくらなければいけないと思っている。これから相談して、これまで行った視察の場所の中でも、特に議会の公開や市民に開かれた議会という立場から見た場合に参考になるなと思えるような自治体を皆で視察したい。そうしたステップを踏まないと、今すぐこの案3をそれぞれが記入することは難しい。</p> <p>例えばこのアンケートの文言を作成した事務局に説明していただく。議会モニターと議会サポーターの違いなども委員以外の方はわからないと思う。資料1と重ね合わせると、多くの議会が取り入れているということもわかり、例えば特徴的な議会ではこういうふうなことをやっているという、全体を見渡した説明を1回受ける。その後でほかの議会に視察に行きたい方は行けば、かなり理解が助かると思うが、例えば2時間程度で設定する方法はいかがか。</p>
部会長 B 委員	<p>ある意味では客観的な説明になる。部会委員のほか、一般の議員にも出席していただく。</p> <p>必要性については全員異論がない。しかし、いわゆる山の登り方がある。制定している自治体は、一定の核になるリーダー的な要素、集団がある。そういう人が引っ張ってきたという事実を我々も視察してきた。部会が結束すれば一番いいが、現状では意見が分かれている。</p>
部会長	<p>自治基本条例と議会基本条例をつくっている自治体は数少ない。杉並の場合は自治基本条例の第6章で議会の最高法規が入っている。その性格から言えば、緊急性がない。したがって、お互い必要性に同意するならば、じっくり皆の理解を深めて、よりいいものをつくる方法をいろいろ考えていったほうが我々はいいいと言っている。そんなに急にやる必要はない。そうでないと、成功しないと思う。</p> <p>今のところ、関心のある方がどのくらいか、その割合はわからないが、無関心派と、大体3層ぐらいに分かれているので、そうした真ん中にいる方や無関心の方をどうやって我々が引っ張っていくかが大事だと思う。アンケートはあくまでも手段。</p> <p>手段ではあるが、アンケートを通じて、各会派の中で議論を、部会員を中心に深めていただければ、1つの会派としての意見がまとまるのではないかと意図して提案している。</p>
D 委員	<p>できれば会派という同じ土俵の中にいるので、部会員がそれに対応していただければ、会派としての意見が集約される。無関心の方は無関心で仕方がない。</p> <p>会派よりも、全体でやるほうが大義名分が立ちやすく、出席してほしいという声はかけやすい。</p>
I 委員	<p>私自身も参加させていただいて、いろいろな認識が変わったところが随分あったと思う。今の段階で、この中で必ずしも一致できていない中で、もっと勉強したり、認識をしていく時間が一定程度必要だという気はしている。そうした時間を丁寧にとって、全体が少しずつレベルアップしていく中で、今ならできるという雰囲気になっていけば、私はそれが条例をつくる時ではないかと感じている。決して今までやってきたことが無駄でもないし、非常に参考になった部分はあるので、否定はしないが、余り急にまとめてしまうこと</p>

部 会 長	<p>には少し抵抗がある。</p> <p>我々正副部会長の間では、アンケートをとることで意見をどんどん集約して、1つの形に一気に持っていくということではなく、今の段階で、この部会以外の方にできるだけ関心を持っていただくために、それぞれの会派で、部会員から説明していただき、そして皆の理解を少しグレードアップしていただくという趣旨のアンケートである。集計して結論が出たからといって、それで一気に基本条例をつくっていくという段階にはまだ至らないのではないか。</p>
J 委 員	<p>確かに項目は1個1個見ると本当に難しく、例えば通年議会について、一体何をもって通年議会と言うのか。例えば所沢市は閉会中の文書質問が可能。事実上の一般質問を閉会中でも会派はやっていいということになる。そこまでいくつもりがあるのか、どんなものなのかについて共通の理解がないと、通年議会1つとってもなかなかうまくいかないと思う。ただ、私は部会のメンバー以外の方が一度勉強会をしてみる必要はあると考える。</p> <p>やはり議会自らということになれば、部会長が全議員を集めて、項目ごとにどういうものなのかしっかりと語って、質疑を受けて、学習をしていく。その後にアンケートをとっていくというのであれば良いと思う。</p> <p>ただ、この中で最も足りないのは、問題意識である。最初にアンケートで聞くべきは、この議会にどういう問題を感じているのか、どこを変えたいと思っているのかという点。そこからこの1項目1項目を検証していくことが私は大事だと思う。</p>
部 会 長	<p>部会のあり方としては、部会長が代表して部会を説明する立場ではないと思う。それでは1つの色を出すだけであって、部会としての形にはならない。</p> <p>自ら議員に調べる意思があれば、いつでもできるはずだが、アンケートを通じて各会派で基本的なことを検討していただくための1つの手段として、提案をさせていただいた。</p>
J 委 員	<p>皆で学習会をするのは大事ではないか。どうしてもアンケートをとりたいのであれば、細かいところに突然入るのではなく、どこに議会の問題を感じているか、どこを改善したいかというアンケートであれば行う価値が非常にあると考える。いきなりこの項目というのは、少し拙速過ぎるのではないか。</p>
F 委 員	<p>進め方についてはまとまらないので、これは部会長から提案された案だということで、アンケートを行う方向で進めていただきたい。</p> <p>ただ、このアンケートの項目について、なかなか会派で説明ができなかったり、認識の差があるということについては、おっしゃるとおりだと思う。しかるべき時期に部会を開いて、項目について、我々もおさらいの意味で事務局から説明を部会の中で受ける。会派で説明できないところは傍聴して聞いてもらう。できるところは自分の会派でそれぞれやっていただくという形で、アンケートについての項目説明を1回部会として開く。聞きたい人はどうぞ入ってくださいという形のものを1回開いたらどうか。</p>
B 委 員	<p>今F委員から提案をいただいた。いい子を産むには民主的に運営していかないといけない。やはり下々の意見を大切にしながら、どうするかとお互い知恵を出し合っていていくのが、この会のいいところだと私は思う。</p>
A 委 員	<p>そういう意味では、私は今F委員がおっしゃったことが良いと思う。部会長からこういう提案をいただいて、先ほどE委員は中間的まとめとおっしゃったけれども、確かにこのアンケートを考えることで、部会のまとめにもなると思う。それを部会に参加している方</p>

	<p>だけでなく、ほかの方々も出席できるように設定する。基礎知識だけは共通しておかないと、後々になって困ることになる。やはりそうした機会を設けるのは、民主的な手続にものっとっており、私は賛成する。</p>
J 委員	<p>順序として、F委員が提案された、まず項目ごとに説明を受ける学習会を開き、その後にアンケートをとるのであればいいと思う。さらに、そのアンケートの前段に、項目として議会に対する問題意識を入れたほうがいい。</p>
部会長	<p>昨年の10月から始まり、項目について調査してきた。それらを踏まえて、これらの項目についてそれぞれの委員としての意見、あるいは会派としての意見をこの時期に提出していただいたほうが、これからほかの議員も意識が高まるのではないかなというねらいがある。</p>
J 委員	<p>勉強というよりも、項目の説明に力点を置く。情報公開はこういうことで、委員会の原則公開というのは、ほかの自治体ではこういうことだと、端的にそれぞれ項目を事務局から聞く。それをほかの議員が聞けるようなものにしておくということにすれば良い。</p>
事務局長	<p>今る委員の発言を聞いている限り、アンケートを行う必要性は否定されていないと思う。ただ、会派としての意見をまとめるためには、部会委員は10月からずっとやってきているので理解はしておられると推測する。また、一定程度会派でも持ち帰って議論はされている部分はあるだろうと思う。一度全協のような形で、事務局が、10月からやってきたもののおさらいを、かいつまんで2時間程度で一通りやらせていただく。その後、例えば他都市に話を聞きに行きたいというご意見もある。アンケートの提出期限をもう少しずらして、例えば4月末までにアンケートに反映していただく。それを集約したものを、今期の部会の、中間報告的なものになるかもしれないが、部会としての検討の結果を報告する。項目ごとに両論併記する形で出てくることになると思うが、そうした形でまとめていく方向でいかがか。</p>
C 委員	<p>スタイルとしてこういう形というものが思い浮かばなかったもので、全協のような形式でという言い方をしたが、そうした堅苦しいものでなくてもいいと思う。事務局の資料は個別にピックアップした客観的な数字なので、客観的に事務局が説明をしてもいいし、これはどういうやり方なのかと聞かれれば、答えられる方が答えるスタイルでいいと思う。</p>
事務局長	<p>形はどうであれ、この部会のメンバーに加え、事務局も入って、ある程度これまでやってきた中間報告的な内容でやっていく。</p>
C 委員	<p>私のイメージでは、後戻りするのではなく、一步踏み出すための準備として捉えている。ただ、事務局にとっても、メンバーにとっても大変な作業だが、もっと深めていけば、議員サイドがやらなくてはならないことがたくさん出てくることになるので、最初の部分は自分たちで責任を持って説明をしていくことが必要と思う。重要な項目も多いので、例えば会派の中で話をしても、なぜそれが必要なのかという意見が1つあるだけで、議論の方向が変わっていく。一度知識を共有する場があるといいし、そういう場を持ったということが重要と考える。</p>
部会長	<p>本日の意見交換の中では、どういう形式で実施するかは別として、全議員を対象にした説明の場を設けるといふことには賛同していただけるか。</p> <p style="text-align: center;">〔「はい」と呼ぶ者あり〕</p> <p style="text-align: center;">〔次回日程調整〕</p> <p style="text-align: center;">《第6回記録について》</p>

部 会 長	既に第 6 回の記録が配付されているが、何かあれば。
B 委 員	最後の、部会長と議論したロードマップの部分は。
事務局次長	この部会の記録については、逐一ご発言を克明に記録したものではなく、要点だけ事務局のほうで若干かいつまんで記載させていただいている。もし不足等があれば、お申し出いただきたい。
部 会 長	閉会する。

(午後 3時14分 閉会)